

入 試 要 項

学校推薦型選抜(一般)

桐朋学園大学音楽学部

2 0 2 3



目 次

	ページ
楽器略語・コード表	2
「学校推薦型選抜(一般)」	3
出願書類記入上の諸注意	6
受験上の注意	7
「学校推薦型選抜(一般)」入学試験科目・課題	8
合格発表、入学手続、入学金・授業料等	14
特待生制度および奨学金制度・学生会館	15
交通機関案内図	18

<ホームページからダウンロードする書類等>

- ・ 志願票・受験曲目票
- ・ 桐朋学園音楽部門奨学金申請書
- ・ 伴奏譜提出票
- ・ <学校推薦型選抜/専願のみ>推薦書(出身学校用)(実技教師用)
- ・ 受験証
- ・ 桐朋学園音楽部門学生会館入居願
- ・ 出願書類送付先票(貼付用)

<用意するもの>

- ・ レターパック(ダウンロードした出願書類送付先票を、宛先欄に貼付する。)
- ・ 受験証返送用封筒(長3サイズの封筒に354円分の切手を貼付し出願書類に同封する。)
※志願者本人が受け取る住所を記入し、志願者名を「様」書きにて記入、封筒右下に「専攻」を記入すること。
- ・ 写真2枚(正面上半身脱帽、背景のないもの、3カ月以内に撮影したもの、タテ4cm×ヨコ3cm、写真裏面に氏名を書くこと。)

<出願時の注意> ※必ずお読みください。

新型コロナウイルス感染症の予防および拡大防止において、政府見解や社会情勢を考慮し、今後、記載事項に関して変更させていただく可能性があります。変更が生じた場合、本学ホームページにより周知いたします。出願前や受験前にご確認ください。

出願には、以下の①②③の手続きが必要となります。

- ① WEB出願申請
- ② 入学検定料支払
- ③ レターパックでの出願書類提出

桐朋学園大学 アドミッション・ポリシー

- ・音楽表現に対する能力や意欲を有し、自己の目標を持っている者
- ・音楽文化に関する知識と技量を習得し、社会の発展に貢献する意思のある者
- ・音楽文化の領域を学ぶために必要な理解力・構想力を持っている者

入学選抜試験で課す課題により、アドミッション・ポリシーで明記した次の能力を測る。

(表現・意欲・関心・創造的思考の分野)

- ・音楽表現に対する能力や意欲を持っている者
- ・自分なりの音楽表現を究める努力をしている者
- ・自己の目標を持ち、専攻分野の修得に強い意志を持っている者
- ・音楽表現を通して、社会の発展に貢献する意思のある者

(知識・技能の分野)

音楽分野に関する基礎的な知識と技能を習得している者

(理解・判断の分野)

音楽文化の領域を学ぶために必要な理解力・構想力を持っている者

本学で取得できる学位 学士(音楽)

本学で取得できる資格 高等学校教諭一種免許状及び中学校教諭一種免許状

楽器略語・コード表

専 攻		楽器略語	コード	
弦 楽 器		コントラバス	C b	1 4
管 楽 器	木 管	ピッコロ	Picc.	2 6
		フルート	F l	2 1
		オーボエ	O b	2 2
		クラリネット	C l	2 3
		バスクラリネット	B . C l	2 7
		ファゴット	F g	2 4
		サクソフォン	S x	2 5
	金 管	トランペット	T p	3 1
		テノール・トロンボーン	T T	3 2
		バス・トロンボーン	B T	3 3
		ユーフォニウム	E u	3 4
		チューバ	T u	3 5
		ホルン	H r	3 6
	打 楽 器		パーカッション	P c
		マリンバ	M a	4 2
ハ ー プ		H p	5 1	
古 楽 器		リコーダー	R e	6 1
		フラウト・トラヴェルソ	F T	6 2
		バロック・オーボエ	B O	6 3
		ヴィオラ・ダ・ガンバ	V G	6 4
		チェンバロ	C e	6 5
		バロック・ヴァイオリン	B V	6 6
		バロック・チェロ	B C	6 7
声 楽		女声	V f	7 1
		男声	V m	7 2
作 曲		創作芸術	C o	8 1
		編作芸術	C a	9 9
音 楽 学		M u	9 1	

「学校推薦型選抜(一般)」

募集人員 15名

音楽学科〔弦楽器(コントラバス)専攻、管楽器専攻、打楽器専攻、ハープ専攻、古楽器専攻、声楽専攻、作曲専攻、音楽学専攻〕
※ピアノ専攻、弦楽器専攻(ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ)、指揮専攻は募集しない。

出願資格

1. 高等学校もしくは中等教育学校を2023年3月卒業見込みの者で、本学を専願する者
2. 専攻として志願する楽器等演奏に関して優れた能力を有し、かつその学修に積極的な意欲をもつ者
3. 出身学校長が責任をもって推薦する、以下の条件を満たす者
 - ① 評定平均値3.0以上の者(基準となる成績は、3年の前期、または1学期までの成績とする)
 - ② 心身共に健康である者
4. 実技指導教員等が責任をもって推薦する者

選考方法

選考は試験(専攻実技・面接及び専門科目)による。(P.8参照)

試験会場

本学〔仙川キャンパス〕(P.18参照) <※古楽器専攻は調布キャンパス>

入学検定料

55,000円

出願期間・方法

①WEB出願申請期限	2022年11月1日(火) 9時00分～11月5日(土) 23時59分
②入学検定料納入期限	2022年11月1日(火) 9時00分～11月5日(土) 23時59分
③出願書類郵送期限	2022年11月1日(火)～11月5日(土) 郵送必着

※WEB出願の受付完了メールを受信できるよう事前に@tohomusic.ac.jpのドメイン解除設定を行うこと。
※上記期限までに次ページの①WEB出願申請「WEB志願票」を入力送信、②入学検定料を納入する。あわせて、後掲P.5の3. 出願書類をレターパックにて郵送する。
※出願書類がレターパックに入らないサイズの場合は、簡易書留郵便での郵送も可とする。

インターネットでのWEBによる出願申請だけでは出願完了とならない。必ず、納入期限までに入学検定料を納入し、出願書類郵送期限までに出願書類をレターパックにて送付すること。出願書類郵送期限までに本校に到着した時点で出願完了となる。

出願手続

1. WEB出願申請受付の流れ ※出願期限については、P.3を参照。

STEP 1

以下のURLより「WEB出願申請」を行う。(9月3日から公開)

<2023年度 桐朋学園大学 学校推薦型選抜(一般) WEB出願申請準備>

URL : <https://www.secure-cloud.jp/sf/1603091778nUTKUbZn>

→ 受付完了メール受信



※WEB出願の受付完了メールを受信できるよう事前に@tohomusic.ac.jpの
ドメイン解除設定を行うこと。

※受付完了メールは利用する携帯キャリアにより迷惑メールに振り分けられる場合
があるので確認すること。

STEP 2

上掲STEP 1 申請受付の完了メールに記載された「ホームページURL」の
「出願書類」を確認(9月3日から公開)

→ 必要書類をダウンロード、印刷し記入 → レターパックにて郵送

STEP 3

上掲STEP 1 申請受付の完了メールに記載された「ホームページURL」の
「WEBフォーム」より「WEB志願票」を入力・送信 → 受付完了メール受信

STEP 4

入学検定料納入方法により、出願期間内に振り込み手続きを行う。

→ 出願が完了する。

2. 入学検定料納入方法

STEP 3のWEB志願票を入力送信後、出願期間内に振り込み手続きを行うこと。

<振込先>

- ・みずほ銀行調布支店 当座No. 9778
- ・三菱UFJ銀行仙川支店 当座No. 49612
- ・三井住友銀行国領支店 当座No. 1015159

<振込先口座名義> 学校法人桐朋学園音楽科
[ガク)トウホウガクエンオンガクカ]

<注意事項>

※納入された入学検定料は返還しない。

※振込みの際は、振込人名義を「受験者名」とし、
名前の前に「2023」と加えること。(例：2023 トウホウ タロウ)

3. 出願書類

※出願書類は前ページSTEP2のホームページよりダウンロード印刷し記入すること。

書類提出はレターパックにて郵送のこと。

出願書類がレターパックに入らないサイズの場合は、簡易書留郵便での郵送も可とする

a) 学校推薦型選抜(一般)志願票・受験曲目票

記入方法については、P.6～P.7を参照。

b) 受験証(写真貼付)

必要事項を記入し、所定の枠に合わせて写真を貼付する。その際、写真裏面に氏名を書く。

(正面上半身脱帽、背景のないもの、3カ月以内に撮影したもの、タテ4cm×ヨコ3cm)

c) 調査書

文部科学省所定様式による。(出願前3ヶ月以内に発行されたもの)

出身学校長が作成する「調査書」(厳封したものに限り)を提出する。

d) 推薦書

①出身学校長が作成する「推薦書」(本学指定用紙)

(調査書に同封し、厳封したものに限り)

②実技指導教員等が作成する「推薦書」(本学指定用紙)

e) 受験証返送用封筒

長3サイズ封筒を準備し、受験生本人が受け取る住所・宛名を記入。封筒右下に「専攻」を記入し、354円分の切手を貼付する。

f) 伴奏譜(コピー譜可)

弦楽器、管楽器、打楽器、ハープ、古楽器(チェンバロを除く)、及び声楽の各専攻志願者が提出する。ただし、無伴奏で受験する作品を除く。

表紙には「伴奏譜提出票」を貼付し、コピー譜の場合は、伴奏者が演奏しやすいように屏風綴りに体裁を整える等、配慮のうえ提出する。(P.7を参照)

g) 桐朋学園音楽部門学生会館入居願

入居を希望する者のみ提出する。

h) 桐朋学園音楽部門奨学金申請書

申請者は「桐朋学園音楽部門奨学金申請書」を別封筒(各自で用意)に入れ、表面に「奨学金関係書類在中」と朱書きし、出願書類に同封する。

i) 振込証憑書類

ATMのご利用明細書のコピー、ネットバンキングでの振込後の画面を印刷したもの等入学検定料を振り込みしたことが分かる書類

4. 出願先

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-4-1

桐朋学園大学音楽学部 事務局入試係

電話:03-3307-4122(直通) メール:exam@tohomusic.ac.jp

試験日程

2022年11月27日(日)

「伴奏合わせ」を含めて、すべて11月27日(日)に行う。開始時間等詳細は「受験証」を送付する際に通知する。

合格発表・入学手続等

P.14を参照。

出願書類記入上の諸注意

志願票の記入方法

1. 楽器略語・コード・・・「楽器略語・コード表」(P.2)に従って記入する。
2. 受付番号(※印欄)・・・記入しない。
3. 氏名・・・・・・・・・・戸籍名を楷書で記入する。姓と名に分け、フリガナをふる。
4. 性別・・・・・・・・・・女、男を○で囲む。
5. 生年月日・・・・・・・・・・西暦で年月日を記入する。年月日の表記が1桁の場合は十の位に「0」を記入する。
6. 出願資格・・・・・・・・・・該当する番号を○で囲む。出身校の所在都道府県名および学校名を枠内に記入する。
7. 保証人・・・・・・・・・・原則として保護者(第1保証人)を記入する。入学手続書類の送付先になるので、電話番号、住所、氏名を必ず記入すること。
8. 受験期間中の居所・・・・・・・・・・宿泊先の名称と電話番号を記入する。志願票提出時に決まっていない場合、また志願票提出後に変更があった場合は、決まり次第届け出る。保証人の欄と同じ場合は「同上」と記入する。
9. 音楽学専攻受験希望外国語・・・・・・・・1カ国語を選択し、番号を○で囲む。出願後の変更は不可。
10. 楽器の使用希望・・・・・・・・自分の楽器を使用する場合は「1. なし」の数字を○で囲む。本学の(コントラバス専攻生のみ) 楽器を使用する場合は、「2. あり」の数字を○で囲む。
11. 特別練習の希望・・・・・・・・コントラバス、小太鼓、マリンバ、ハープ、チェンバロの受験生のうち、(特殊楽器専攻生のみ) 入試当日に本学での専攻楽器練習を希望する者は、「2. あり」の数字を○で囲む。希望しない場合は、「1. なし」の数字を○で囲む。該当者には練習場所、時間を別途通知する。
12. 障がいおよび配慮希望の有無・内容
・・・・・・・・・・障がいがある場合は診断名および配慮希望の有無、内容を記入すること。
※任意、別紙可、可否には一切関わりません。
13. 入学後の実技担当希望教師名
・・・・・・・・・・本学において決定するが、希望がある場合は、実技担当希望教師名を記入する。ただし、希望通りにならない場合がある。
14. 写真・・・・・・・・・・目次のページを参照。
15. 学生会館入居申請・・・・・・・・入居を希望する者は申請欄に○を記入する。(P.5参照)
16. 奨学金申請・・・・・・・・奨学金を申請する者は申請欄に○を記入する。(P.5参照)

受験曲目票の記入方法

1. 「楽器略語・コード」、「氏名」・・・志願票と同様に記入する。
2. 「伴奏」・・・・・・・・・・伴奏がつく楽曲の場合・・・・・・・・・・あり を○で囲む。
伴奏がつかない楽曲の場合・・・・・・・・・・なし を○で囲む。
3. 演奏する曲目のうち、自由曲、任意の曲については、具体的・詳細に記入する。(指定曲は記入不要)
4. 管楽器は、ファゴット、ユーフォonium、テューバ以外の専攻について、選択した曲目を記入する。
尚、クラリネットの課題(1)-(a)、サクソフオンの課題(1)は、所定の欄に選択した2曲の課題番号を記入する。また、古楽器はリコーダー、ヴィオラ・ダ・ガンバ、バロック・ヴァイオリン、バロック・チェロの選択した課題曲について記入する。
5. 「副科ピアノ」は、作曲者・曲目等を具体的に記入する。
6. 出願後の受験曲目等の変更は、認めない。

伴奏譜提出票の記入方法

1. 「区分」・・・・・・・・『推薦』と記入する。
2. 「※受付番号」・・・何も記入しない。
3. 「伴奏譜提出票」は伴奏譜の表紙に貼り付ける。伴奏譜が複数ある場合は、各自で「伴奏譜提出票」をコピーして楽譜ごとに貼付する。
4. 声楽専攻の「任意の1曲」の伴奏譜提出票には、「任意曲」と必ず記載する。

受験上の注意

1. 出願者には、受験にあたっての詳細を通知する。
2. 自分の演奏曲の楽譜(必要な場合)、受験証、筆記用具、昼食(試験が昼食時間に及ぶ場合)を持参する。
受験証を持たない者は試験場に入場できない。
3. 伴奏者は本学で準備する。伴奏譜は、出願時に『伴奏譜提出票』を貼付して提出する。
4. 伴奏付きの楽曲は、無伴奏で演奏してはならない。(特に、指定のある場合を除く。)
5. 練習室の貸出しは行わない。(実技試験の前には、決められた練習時間が確保されている。)ただし、特殊楽器専攻生を除く。
6. 楽器の使用について
 - 1) 小太鼓、マリンバ、ハープ、チェンバロ以外は各自の楽器を持参して使用する。
 - 2) コントラバスは、本学または自分が所有する楽器のいずれを使用してもよい。
本学の楽器を使用する場合は、「出願書類記入上の諸注意」の「楽器の使用希望」に従い申し込む。
7. 受験を取りやめる場合は、本学まで必ず連絡すること。
8. 服装については特に指定しない。
9. 試験当日、保護者の校内立入は禁止する。

「学校推薦型選抜(一般)」 入学試験科目・課題

<試験科目>

I. 専門科目

1. 楽典(1時間) [作曲専攻志願者は受験不要]
2. 聴音(1時間)、新曲視唱
3. 副科ピアノ実技 [チェンバロ専攻志願者および作曲専攻志願者は受験不要]
自由曲1曲(暗譜で演奏する)

II. 専攻実技・面接

[作曲専攻志願者は楽器演奏を課す][音楽学専攻はこれに代えてP.12の試験を行う]

<専攻実技試験課題>

弦 楽 器

a) コントラバス

次の(1)または(2)の中から1曲を選んで演奏する。

- 1) 任意のコンチェルトの第1楽章または第3楽章(10分以内)
- 2) バロックのソナタの緩徐楽章と急速楽章(10分以内)

上記課題以外の条件で受験を希望する者は、受験生の実技教師による理由書を出願時に提出すれば受験することができる。

管 楽 器

以下の(1)、(2)、(3)を演奏する。(※専攻によって課題曲数は異なる。)
暗譜で演奏するか否かは自由とする。

※ 伴奏者は本学で準備する。(無伴奏作品を除く)

a) ピッコロ

以下の(1)をピッコロで、(2)をフルートで演奏する。

- (1) Bach : Flute Sonata C-dur BWV1033より Adagio
- (2) Köhler : 12 Medium Difficult Exercises op.33-2より 任意の1曲

b) フルード

- (1) Andersen : 24 Studien op.21から No.24
- (2) 以下の3曲から任意の1曲を演奏する。
 - イ. Büsler : Prélude et Scherzo
 - ロ. Enesco : Cantabile et Presto
 - ハ. Fauré : Fantaisie

c) オーボエ

繰り返しは省略する。

- (1) W.Ferling : 48 Etudes (Pierre Pierlot 版)
No.3, 5, 6, 8, 10, 13, 14の中から任意の1曲
- (2) 以下の4曲から任意の1曲
 - イ. G. F. Händel : Sonate c-moll 第1、2楽章
 - ロ. G. F. Händel : Sonate g-moll 第1、2楽章
 - ハ. G. Ph. Telemann : Sonate g-moll 第1、2楽章
 - ニ. G. Ph. Telemann : Sonate a-moll 第1、2楽章

d)クラリネット

- (1) 以下の(a)または(b)のいずれかを演奏する。
 - (a) C. Rose : 32 Etudes (Leduc社版) から、任意の奇数番号と偶数番号をそれぞれ1曲(合計2曲)選択する。
 - (b) E. Cavallini : 30 Capricesから任意の1曲
- (2) 以下の4曲から任意の1曲
 - イ. C. M. v. Weber : Concertino op. 26
 - ロ. C. M. v. Weber : Concerto op. 73 f-moll 第1楽章
 - ハ. A. Messenger : Solo de Concours
 - ニ. F. Krommer : Concerto op. 36 Es-dur 第1楽章

e)バスクラリネット

- (1) U. Delécluse : Vingt étude faciles 1, 3, 5, 7番より任意の1曲
- (2) Jules SEMLER-COLLERY : Légende et Divertissement pour clarinette basse et piano より Divertissement
- (3) R. Eichler : Scales for Clarinetより1番(ソプラノクラリネットで演奏のこと)
※調性は当日指定する

f)ファゴット

- (1) Julius Weissenborn : Fifty Bassoon Studies op. 8 Vol. IIから、No. 4, 13

g)サクソフォン

- (1) Ferling : 48 Etudes (Leduc社版) から、任意の奇数番号と偶数番号をそれぞれ1曲(合計2曲)選択する。
- (2) 任意の楽曲を1曲(7、8分程度にまとめる)。

h)トランペット

繰り返しは省略する。

- (1) 以下の曲から任意の1曲
C. Kopprasch : 60 Etudes for Trumpet (版は指定しない) No. 8, 10, 13, 15, 19
- (2) 以下の6曲から任意の1曲
 - イ. G. Alary : Morceau de Concours (A. Leduc社版)
 - ロ. J. Ed. Barat : Fantaisie en mi-bémol (A. Leduc社版)
 - ハ. Ph. Gaubert : Cantabile et Scherzetto (A. Leduc社版)
 - ニ. J. Guy Ropartz : Andante and Allegro (International Music社版)
 - ホ. F. Thomé : Fantaisie (A. Leduc社版)
 - ヘ. J. B. Arban : Fantaisie Brillante より
Introduction, Theme, Variation I, Variation II

i)テノール・トロンボーン

繰り返しは省略する。

- (1) C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone No. 10, 13, 16, 19, 22 から任意の1曲
- (2) 以下の3曲から任意の1曲
 - イ. B. Marcello : Sonata F-dur 第1、4楽章 (International Music 社版)
 - ロ. E. Sachse : Concertino 最初からAdagioの終わりまで (International Music 社版)
 - ハ. A. Guilmant : Concert Piece Op. 88 (International Music 社版)

j)バス・トロンボーン

- (1) O. Blume : 36 Studies for Trombone with F Attachment
No. 7, 8, 14, 19, 31 から任意の1曲 (Carl Fischer社版)
- (2) 以下の3曲から任意の1曲
 - イ. A. Lebedev : Concerto in One Movement (Musicus 社版)
 - ロ. E. Sachse : Concertino 最初からAdagioの終わりまで (International Music 社版)
※ F-durで演奏してもよい
 - ハ. E. Bozza : Allegro et Finale (A. Leduc 社版)

k)ユーフォニウム

繰り返しは省略する。

- (1) M. Bordogni (arr. J. Rochut) : Melodious Etudes for Trombone No. 8 (版は指定しない)
- (2) C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone No. 33 (版は指定しない)

1)テューバ

- (1) C. Kopprasch : 60 Selected Etudes for Tuba No. 14 (Robert King社版)

m)ホルン

- (1) 以下の3曲から任意の1曲 (版指定なし)
 - イ. W. A. Mozart : Horn Concerto No. 3から 第1楽章 (カデンツァなし)
 - ロ. W. A. Mozart : Horn Concerto No. 2から 第1楽章
 - ハ. W. A. Mozart : Horn Concerto No. 4から 第1楽章 (カデンツァなし)

打楽器 (本学の楽器を使用)

※ 伴奏不要

以下の(1)(2)(3)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

a)パーカッション

- (1) 小太鼓による1つ打ち、2つ打ち (Snare offで演奏)、
クレッシェンド・ディミニユエンドロール打ち (< >) (Snare onで演奏)
- (2) 小太鼓課題2曲 (Snare onで演奏)
M. Goldenberg : Modern School for Snare Drum (A. J. Cirone 社版) から
①Roll Exercise in 2/4 (P. 44)、②Etude in 6/8 (P. 48, 49)
- (3) マリンバによる課題 —P. 13参照
スケール Es-dur, c-moll
短調は和声的音階・旋律的音階の両方とする。

b)マリンバ

- (1) 小太鼓による1つ打ち、2つ打ち (Snare offで演奏)
- (2) マリンバによる課題 —P. 13参照
スケール E-dur, cis-moll, B-dur, g-moll
短調は和声的音階・旋律的音階の両方とする。
- (3) マリンバ自由曲 6分以内 (カット演奏も可)

ハープ

※ 伴奏不要

以下の(1)(2)(3)を暗譜で演奏する。

- (1) 変ホ長調のスケール・アルペジオ・和音
- (2) N. Ch. Bochsa : 50のエチュード第1巻から1曲
- (3) 自由曲 1曲

古 楽 器

以下の(1)(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

a) リコーダー

(1) 課題曲

Francesco Mancini : リコーダーと通奏低音のための12のソナタから任意の1曲

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

b) フラウト・トラヴェルソ

(1) 課題曲

G. F. Händel : Sonata G-dur HWV363b (op. 1-5) 全楽章 繰り返しは任意
[推薦楽譜] Bärenreiter社版 (1995年、T. Best の新版)

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

c) バロック・オーボエ

(1) 課題曲

G. F. Händel : Sonata B-dur HWV357 全楽章

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

d) ヴィオラ・ダ・ガンバ

(1) 課題曲

Marin Marais : ヴィオール曲集第2巻 (1701年) から任意の組曲 (10分程度にまとめること)

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

e) バロック・ヴァイオリン

(1) 課題曲

①17世紀イタリアのソナタから任意の1曲

(Marini, Castello, Fontana, Uccellini 等から)

②Arcangelo Corelli : ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ 作品5から任意の1曲

(ただし、No. 12「ラ・フォリア」を除く)

③J. S. Bach : ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ G-dur BWV1021

※上記の課題の②、③については、試験当日に演奏する楽章を指定する。

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

f) バロック・チェロ

(1) 課題曲

①イタリアンチェロのソナタ (Vivaldi か Geminiani か Lanzetti 等) から
任意の1曲(全楽章)

② J. S. Bach : チェロ組曲から任意の1曲 (全楽章)

(2) 初見演奏

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

注1) リコーダー、フラウト・トラヴェルソ、バロック・オーボエ、ヴィオラ・ダ・ガンバの受験生は当日 a' = 415 の専攻楽器を使用すること。
バロック・ヴァイオリンおよびバロック・チェロの受験にあたっては、モダン楽器での受験も可とする。ただし、ピッチは a = 415とし、ガット弦およびバロック弓を使用すること。
注2) 伴奏は本学で用意する。

g)チェンバロ

(1) 課題曲 一次の作品をすべて演奏する。ただし、演奏順序は自由。

①J. S. Bach : 平均律クラヴィーア曲集 第1巻 第13番 Fis-dur 前奏曲とフーガ

[指定楽譜] Bärenreiter社版 および Henle社版

②D. Scarlatti : Sonata A-dur K. 209

[指定楽譜] カークパトリック編 60のソナタ 全音楽譜出版社版 および Heugel社版

③J. P. Rameau : Les Tendres Plaintes

[指定楽譜] Bärenreiter社版 および Heugel社版

④W. Byrd : Callino Casturame

[指定楽譜] Stainer & Bell 社版 Musica Britannica 第27巻 35番

(2) 初見演奏

バロック時代の簡易な舞曲あるいはそれに準ずる小品。

5分間の予見時間を与える。試奏はできない。

◎ 当日は後期フレミッシュ・モデル 2段鍵盤チェンバロ(音域 FF-g⁷、ピッチ a⁴=415、レジスタ 8'8⁴4L)を使用する。

声 楽

暗譜で演奏する。

イタリア古典歌曲(注) 2曲以上を含む5曲を提出し、そのうち任意の1曲と、抽選による1曲の合計2曲を演奏する。出願の際、受験曲目票に原語で作曲者名と曲名を記入する。オペラ・アリア以外は調性も明記する。

◎出願書類とともに受験曲5曲の伴奏譜を必ず提出する。「任意の1曲」には、伴奏譜提出票にもその旨を記入すること。(P.7参照)

(注) 以下の楽譜に記載の曲から選ぶこと。移調は自由。
Ricordi(リコルデイ社) Arie Antiche vol.1・2・3
全音楽譜出版社「イタリア歌曲集」 1(新版を含む)・2
教育芸術社「イタリア古典声楽曲集」 1・2

作 曲

a)創作芸術

(1) 作曲作品提出(複数可) ※出願手続の際、出願書類とともに提出すること

(2) 専攻に関する面接 ※その際下記を演奏すること。

楽器演奏(声楽を含む) 5分以内の自由曲

b)編作芸術

(1) 作曲または編曲作品提出(複数・作曲、編曲途中のものも可)

※出願手続の際、出願書類とともに提出すること

(2) 専攻に関する面接 ※その際下記を演奏すること。

楽器演奏(声楽を含む) 5分以内の自由曲

音 楽 学

(1) 専攻小論文(1時間30分)

(2) 専攻外国語(1時間30分)

英語、ドイツ語、フランス語の中から1カ国語を選択する。辞書(電子辞書含む)の持ち込みを可とする。

(3) 面接

打楽器専攻実技試験課題

a) パーカッション - (3) マリンバによる課題

3オクターブのスケールとアルペジオ。
短調は和声的音階・旋律的音階の両方とする。

b) マリンバ - (2) マリンバによる課題

3オクターブのスケールとアルペジオ。
短調は和声的音階・旋律的音階の両方とする。

♩=126

R L L R R L

L R R R

The score is written for two staves in common time (C). It features a 3-octave scale and arpeggio exercise. The right hand (R) and left hand (L) parts are indicated by 'R' and 'L' above the notes. The tempo is marked as ♩=126. The piece concludes with a double bar line and a final chord.

和声的短音階

The score shows a harmonic minor scale in common time (C) on two staves. The right hand (R) and left hand (L) parts are indicated by 'R' and 'L' above the notes. The scale is written in a short form, showing the characteristic raised seventh degree.

旋律的短音階

The score shows a melodic minor scale in common time (C) on two staves. The right hand (R) and left hand (L) parts are indicated by 'R' and 'L' above the notes. The scale is written in a short form, showing the characteristic raised seventh degree.

合格発表、入学手続、入学金・授業料等

発表日 2022年12月6日(火)18時予定

発表方法 合格者の「受付番号」を次の方法で発表する。

- ① 学内掲示(仙川キャンパス・1階ロビー)
- ② 本学ホームページ

書類の交付 合格者には、入学手続書類(合格者心得)を同日に速達で送付する。

入学手続 12月7日(水)～12月14日(水)【郵送必着】

手続締切日 ※締切日までに手続きを完了しない場合は、入学資格を失う。

提出書類等

- 1) 「入学手続納付金払込用紙」の副票
- 2) 誓約書(本学が指定する用紙)
- 3) 身元保証書(本学が指定する用紙)
- 4) 学籍台帳(本学が指定する用紙—要・タテ7cm×ヨコ5cmの写真貼付)
- 5) 写真(タテ4cm×ヨコ3cm)1枚
- 6) 住民票または住民票記載事項証明書1通(マイナンバーは不要。入学する本人のみ記載のもの、本籍の記載も必要)
- 7) 保健調査票(予防接種歴確認書) 他

※ 手続きを完了した者には、「入学許可証」を交付する。

※ 入学手続に関する詳細は、『合格者心得』で通知する。

※ 入学手続完了後に入学を辞退する者には、指定した期日までに所定の手続きをとれば、入学金以外の納入金を返還する。

入学金・授業料等(2022年度実績)

1. 入 学 金	600,000円	(入学時のみ)
2. 運営維持費	300,000円	(年額)
3. 授 業 料	1,360,000円	(年額)
4. 施設設備費	340,000円	(年額)
5. 学生会費	6,600円	(年額)

(注)1)1.2.の合計と3.4.5.の半額(合計1,753,300円)が、入学手続時に納入する金額である。

2)上記の他に以下のような受講料(年額)が発生する場合がある。

外国人講師等の特別レッスン 1万円程度(外国人講師による)

選択副科受講料 80,000円(副科声楽 55,000円)

室内楽・二重奏ソナタ受講料 45,000円

教職課程受講料 高等学校教諭一種免許状 60,000円

高等学校教諭一種免許状及び中学校教諭一種免許状 100,000円

3)経済情勢の変動等に応じて2023年度以降の校納金については改定があり得る。

特待生制度および奨学金制度・学生会館

特待生制度

入学試験または所定の学内試験で、専攻実技の成績が極めて優秀であると認められた学生は、「特待生」として入学金・運営維持費・授業料などを全額または一部を免除する。

奨学金制度

成績優秀者または経済的な理由により就学が困難な大学生、高校生、ソリスト・ディプロマ・コース生を対象とする。各種の奨学金制度がある。

1. 本学独自の奨学金制度〔給付〕

◎桐朋学園音楽部門奨学金

向学心を持ちつつも、経済的理由で就学が困難な学生・生徒を対象とする。
1年ごとに選考を行い、授業料の1割から10割を年1回(9月末)給付する。
原則として、日本学生支援機構奨学金(第一種)の算出基準に準拠し、実状を考慮し決定する。

申請方法：入学前と入学後の申請がある。

①入学前の申請

入試要項添付の申請書に必要事項を記入、書類を添付のうえ入学試験志願票とともに提出する。給付の可否についての審査結果は、2023年2月22日頃に郵送する。
採用者には、入学後、奨学金運営委員会による面接が7月中旬に実施される。

②入学後の申請

在学生を対象とする募集要項は、4月末に掲示する。入学前に申請した者も、再度申請することができる。

◎桐朋学園音楽部門特別奨学金

成績の特に秀でた学生・生徒に対し給付される。

◎桐朋学園音楽部門芸術教育設備・拡充資金及び奨学金基金奨学生

当該年度の入学試験で、秀抜なる成績を得た学生・生徒に給付される。

◎桐朋学園音楽部門同窓会奨学金(大学2年在学生対象)

桐朋学園音楽部門同窓会から、向学心があり心身ともに健全で、経済的理由によって修学が困難な大学2年生を対象に給付される。

◎チェロアンサンブル・サイトウ奨学金(チェロ専攻生対象)

当該年度の入学試験で、秀抜なる評価を得たチェロ専攻の学部学生に給付される。

◎鍋島元子奨学金(古楽器専攻生対象)

本学出身のチェンバリスト、故・鍋島元子の名を冠した奨学金。
当該年度の入学試験において、優秀な成績を修めた者に給付される。

◎宗次徳二桐朋学園大学大学院 特待奨学金

特定非営利活動法人イエロー・エンジェルの寄附により設立。次世代の音楽界を担うことが期待される特に優秀な者で、経済的理由で就学が困難な大学院生が支給対象となる。法人からの依頼を受け、学校から推薦される。

対象者：修士課程 2名(最長2年間) 博士後期課程 1名(最長3年間)

給付額：年間120万円(入学から修了まで)

◎桐朋学園音楽部門 留学支援 江崎スカラシップ

次世代の音楽界を担うことが期待される大学・大学院・ディプロマコース・大学院大学のピアノ専攻生を対象に海外留学支援のための奨学金が給付される。

対象者：ピアノ専攻生 2名 給付金額：一名につき500万円(ただし、1回限り)

◎桐朋学園音楽部門 佐々木成子賞 奨学金(声楽専攻・声楽コース対象)

大学ならびに大学院の声楽専攻生のうち、年間を通じて優秀な成績を修めた者に対し奨学金が給付される。

2. その他の奨学金 等

◎日本学生支援機構奨学金(国の奨学金、採用人数枠が有り大学を通じて申請)

<https://www.jasso.go.jp>

◎各都道府県・地方公共団体奨学金

◎企業、交通遺児育英会等の奨学金

◎国の教育ローン(日本政策金融公庫が取り扱う公的な融資制度)

<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

3. 高等教育の修学支援制度について(2020年4月～)

桐朋学園大学は国による「高等教育の修学支援新制度」の対象校となっている。

「高等教育の修学支援新制度」の対象者は、本学在学にあたり以下の支援を受けることができる。

区分	国 〈授業料・入学金減免〉		日本学生支援機構 〈給付型奨学金〉	
	入学金(減免額)	授業料(減免額)	自宅生	自宅外生
第Ⅰ区分	260,000	700,000(年額)	38,300(月額)	75,800(月額)
第Ⅱ区分	第Ⅰ区分の3分の2の額			
第Ⅲ区分	第Ⅰ区分の3分の1の額			

※単位は円。年度中に区分が変わった場合、減免額・給付額が変更となる。

※入学金の減免は、新入生のみ対象(入学時のみ)。

※第Ⅰ区分～第Ⅲ区分は、世帯の所得金額に基づく区分となる。

参考：日本学生支援機構 給付型奨学金

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

[高等教育の修学支援新制度の詳細について]

・文部科学省 高等教育の修学支援新制度

<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

学生会館

自宅通学が困難な女子学生・生徒のために、調布キャンパスより徒歩約5分の場所に学生会館を用意している。

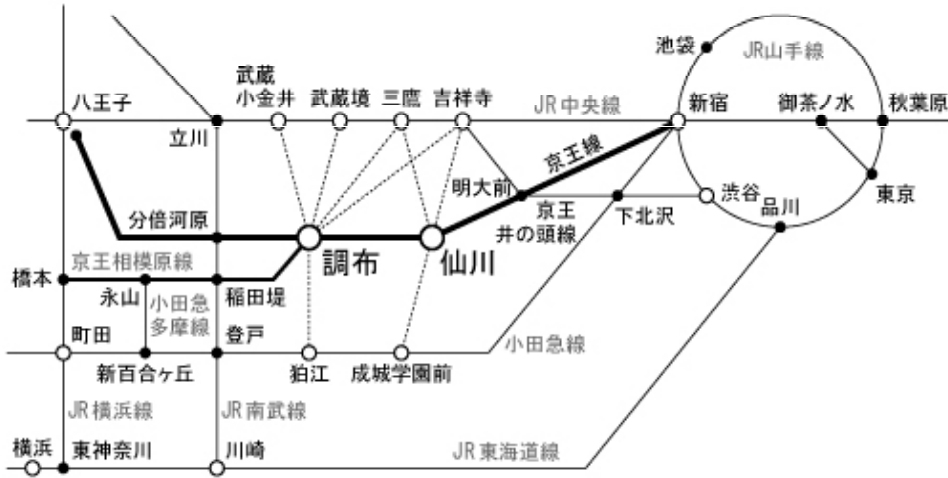
タイプ	防音ワンルーム型マンション
住戸面積	約21㎡(1住戸当り)
仕様	ミニキッチン・バス・トイレ・エアコン・インターネットコネクション等各室完備
住戸数	115戸
入居費	月額 78,000円
その他	入居時に諸経費として、50,000円が必要。光熱水費は自己負担。

2023年度の募集について

- (1) 募集人数は約20名。希望者多数の場合は抽選(高校生、ディプロマ・コース生を含む)。
- (2) 入居希望者は要項に添付されている所定用紙を入学試験志願票とともに提出すること。
- (3) 入居の可否通知は、合格発表日後1週間以内に合格者宛に発送する。

交通機関案内図

■ 交通案内 <調布駅－新宿駅より特急で約16分、仙川駅－新宿駅より快速で約18分>



京王線以外からのルート

- <調布キャンパス>
- 小田急線「狛江」駅発 (バスの所要時間約20分)
小田急バス 「調布駅南口」または「武蔵境駅南口」行き
「調布駅南口」または「調布駅北口」バス停下車 徒歩10～12分
 - JR中央線「吉祥寺」駅、「三鷹」駅、「武蔵境」駅、「武蔵小金井」駅発 (バスの所要時間約30～40分)
小田急バス 「調布駅北口」行き (吉祥寺、三鷹、武蔵境)
京王バス 「調布駅北口」行き (武蔵小金井)
「調布駅北口」バス停下車 徒歩10分

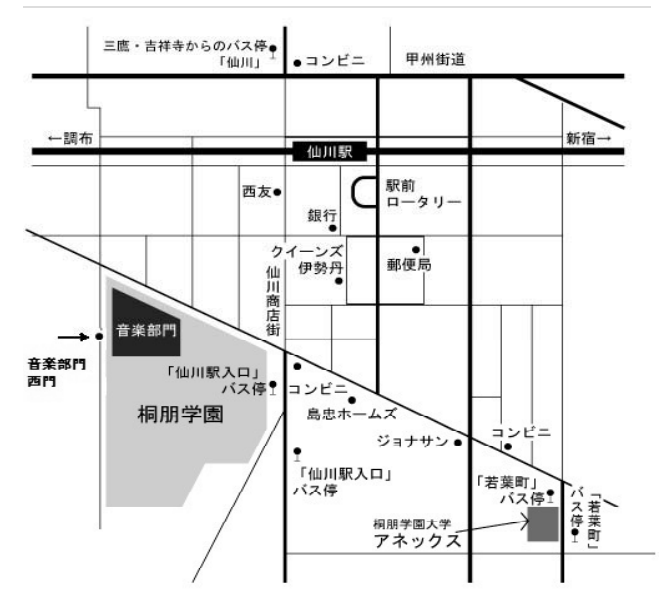
- <仙川キャンパス>
- 小田急線「成城学園前」駅発 (バスの所要時間約15分)
小田急バス 「狛江営業所」または「調布駅南口」行き
「仙川駅入口」バス停下車 徒歩1分
 - JR中央線「吉祥寺」駅発 (バスの所要時間約25分)
小田急バス 「仙川」行き 「仙川」バス停下車 徒歩6分
 - JR中央線「三鷹」駅発 (バスの所要時間約30分)
小田急バス 「仙川」行き 「仙川」バス停下車 徒歩6分

◆ 調布キャンパスの駅からのアクセス



● 京王線「調布」駅より 徒歩10分

◆ 仙川キャンパスの駅からのアクセス



● 京王線「仙川」駅より 徒歩5分

<桐朋学園音楽部門 仙川キャンパス>

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1 ☎ 03(3307)4101(代)

<桐朋学園音楽部門 調布キャンパス>

〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-10-1 ☎ 042(444)7055(代)